

(別紙5)

整理番号 2020P-096
補助事業名 2020年度
地域に根差したこどもの自然・文化・遊び体験活動 補助事業
補助事業者名 公益社団法人 発明協会

1 補助事業の概要

(1) 事業の目的

地域における青少年の知的創造体験活動の普及、啓発を図るため、地域に根ざして活動する少年少女発明クラブ活動の支援及び創造性を競う全国大会を開催し、もって公益の増進に寄与する。

(2) 実施内容

① 少年少女発明クラブ活動強化事業

ア 少年少女発明クラブ活動の支援

少年少女発明クラブは、子ども達のモノづくりに親しむ環境を整えるため、全国214か所で活動(2021年3月末現在)を行っている。2020度はコロナ禍での活動となり、消毒をはじめとした感染防止策の徹底や3密回避のために定員削減や活動期間短縮等活動規模を縮小しての実施となる少年少女発明クラブが多かった。

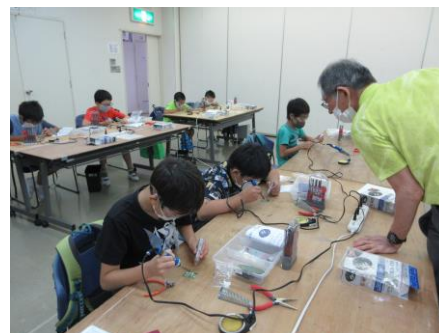
本年度、新たに6クラブ(岩手県遠野市、東京都港区、静岡県沼津市、静岡県藤枝市、愛知県尾張旭市、大分県由布市)が開設され全国で214クラブとなった。

年間を通したクラブ員数は約7,600名で、延べ約4,200回の講座に参加し創作活動に励んだ。

また、クラブ員が会場に参集する形態の活動に加え、教材を自宅に送付しての通信教育、インターネットを活用した教材コンテンツの動画配信、さらには双方向のオンライン会議形式の講座実施等新たな活動形態が進んできた。



木工工作(水戸市)



電子工作(高浜市)

(別紙5)



ペットボトルロケットの作成と飛行実験
(沼津市)



プログラム研修 (豊田)



パソコンの解体実験 (台東区)



アイデア作品の紹介テスト (淡路)



風力発電機の製作 (最上)



風の製作 (高浜)



クレーン車の工作 (田布施町)



オンライン講座 (大阪市日本橋)

(別紙5)

イ 少年少女発明クラブ指導員全国会議

2020年8月31日に東京都港区にて開催を予定していたが新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため中止した。

ウ 公開教室の実施

コロナ禍ではあったが、全国27ヶ所の少年少女発明クラブにおいて、3密や感染予防対策を施して公開教室を開催した。開催クラブ数や参加人数は例年と比べ非常に少なかったが、学校休校や従来通りの活動が制限されていた社会環境であったので、参加した子ども達や保護者に好評を得ていた。

・教室参加者は約820人、展示会来場者は約170人であった。



ツールボックスの工作（延岡）



LEDイルミネーションの工作（防府市）



凧の工作（阿南市）



電動バイクの工作（千葉）



(別紙5)

オランダの涙（強化ガラス）の実験
（三川町）

「スカイスクリー」の工作（宮崎）

② 知的創造活動普及・奨励事業

全国青少年少女チャレンジ創造コンテストは新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため中止した。

2 予想される事業実施効果

① 青少年少女発明クラブ活動強化事業

青少年少女発明クラブの活動では、学年の枠を越えて子ども達が自ら問題発見・発明工夫し、実際に作品を完成することを目標としている。知識を製作に活かす創造体験を通して、達成感や創造する喜びを体験することができる。こうした自ら考え創作する活動の全国規模での実施は他に見られない。また、クラブ員以外の子ども達が参加する公開教室等も実施しており、広く青少年の創造性能力の開発育成に努めている。

この様な創造性豊かな人材の育成を通じて、将来における我が国産業の担い手を育み、ひいては国際競争力のある持続可能な社会の実現に資するものと期待できる。

3 補助事業に係わる成果物

(1) 補助事業により作成したもの

① 青少年少女発明クラブ活動強化事業

ア 青少年少女発明クラブニュース N o. 292~297 20,000部
イ はつめいキッズホームページ (<http://kids.jiii.or.jp/>)

4 事業内容についての問い合わせ先

団 体 名： 公益社団法人 発明協会（ハツメイキョウカイ）

住 所： 〒105-0001

東京都港区虎ノ門 3-1-1 虎の門三丁目ビルディング 4階

代 表 者： 会長 野間口 有（ノマクチ タモツ）

担 当 部 署： 総務グループ（ソウムグループ）

担 当 者 名： 課長補佐 中野 雄生（ナカノ ユウキ）

電 話 番 号： 03-3502-5421

F A X： 03-3504-1480

E - m a i l： y-nakano@jiii.or.jp

U R L： <http://koueki.jiii.or.jp/>